

◎法科大学院学長、学部長が世界的な法律教育の原則を採択

【シンガポール 2013 年 9 月 27 日 PRN=共同 JBN】9 月 25 日から 27 日までシンガポールで開かれたこの種の会議としては最近の記憶では最大規模になった **Global Law Deans' Forum** に 80 人を超す世界の法科大学院学長や法学部学部長が参集し、法律教育の基準および成果に関する原則を採択した。これら国際的な原則は **International Association of Law Schools (IALS)** が後援した 2 年間にわたる学長、学部長らのワークショップから生まれたもので、IALS は世界の法律教育の共通化と標準化を図る目的で法律学校の指導者を一堂に集めた。

それぞれの国や世界で社会規範が別々に発展を遂げる中、法律教育も急速にその姿を変えつつあり、国際的な原則を規定する必要に迫られていた。

今回作られた原則は今後 IALS が法律学者、判事、職業的コミュニティー、他のステークホルダーとの関与を継続する中で世界の法律教育のためのガイドラインおよび推奨プラクティスを定めるための基礎になる。

IALS 会長フランシス・SL・ワン教授は「これらの原則は国際的な法律教育イニシアチブをさらに定義する上で基本的な構成要素になるもので、このイニシアチブはわれわれの多様性を尊重する一方で、次の世代の法科大学院性を教育するための共通のビジョンに向けすべての法律教師をつなぐものだ」と述べた。

コーネル大学法科大学院副学長兼 IALS 事務局長のバーバラ・ホールデンスミス教授はワン教授の声明に賛意を表した上で「今回のことは国際的法律教育のパラメーターをさらにはっきりと定義したいというわれわれの会員の必要および要請に応えたものだ」と述べた。

今回の **Global Law Deans' Forum** ではシンガポール国立大学法学部教授会が学部長サイモン・チェスターマン教授の指揮の下で共同ホストを務めた。これらの原則は IALS のウェブサイト (<http://www.ialsnet.org>) でオンライン閲覧が可能になっている。

International Association of Law Schools は有志からなる非営利の学会であり、45 カ国以上の 170 以上の法科大学院および法学部が会員になっている。同協会は 2005 年に設立され、現在では法律学校の世界最大級の国際団体になっている。

ソース：International Association of Law Schools(IALS)

▽問い合わせ先

Martha Delgado, md@wangff.org,

Anna Williams, jpw@wangff.org,

または電話： 1-707-259-2811